

IT ビジネスの基礎・オプション演習 「リモートデスクトップ接続」

このオプション演習は、「IT ビジネスの基礎」 Lesson6 の 6-6 「VNC と Microsoft Terminal Services」まで学習した後に行ってください。

Microsoft Terminal Services についての理解を深めるため、Windows のリモートデスクトップ接続を使用し、リモートコンピュータの制御を行います。

なお、この演習ではネットワークに接続された 2 台のコンピュータを使用します。一方をサーバ(コントロールされる側のコンピュータ)、他方をクライアント(コマンドを出す側のコンピュータ)として機能させます。

事前準備

リモートデスクトップのサーバとして使用するコンピュータには Windows XP Professional がインストールされている必要があります。Windows XP Home Edition は、リモートデスクトップ接続のクライアント機能のみとなります。

＜サーバ用コンピュータ＞

リモートデスクトップ接続が使用できるように設定する

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[セキュリティセンター]を選択し、[Windows ファイアウォール]をクリックします。表示されるダイアログボックスで、[例外]タブにある[リモートデスクトップ]にチェックを入れてください。
2. 「システムのプロパティ」ダイアログボックスの[リモート]タブで、[リモート デスクトップ]セクションの[このコンピュータにユーザがリモートで接続することを許可する]にチェックを入れてください。

リモートデスクトップへログインするため、アカウントにパスワードを設定する

3. [スタート]→[コントロールパネル]を選択し、[ユーザーアカウント]をクリックします。[アカウントの変更]を選択し、変更するアカウントをクリックします。[パスワードを作成する]をクリックし、[新しいパスワードの入力]と[新しいパスワードの確認入力]に同じ文字列(パスワード)を入力してから、[パスワードの作成]をクリックします。

注: ファイルやフォルダを個人用にするか選択する画面が表示されます。必要に応じて[はい]または[いいえ]を選択してください。

実 習

1. <クライアント> クライアント側のコンピュータで、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[リモートデスクトップ接続]の順に選択し、「リモートデスクトップ接続」ダイアログボックス(図 1-1)を表示させます。

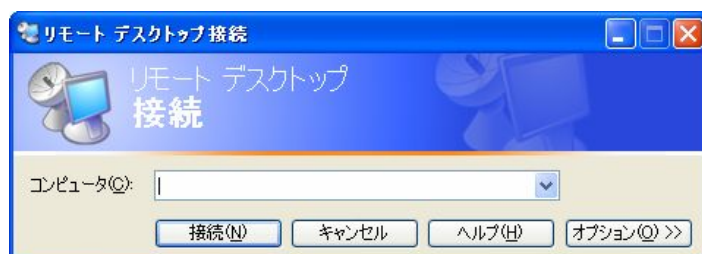


図 1-1「リモートデスクトップ接続」ダイアログボックス

2. <クライアント> [コンピュータ]フィールドに、サーバコンピュータの IP アドレスを入力して[接続]ボタンをクリックすると、サーバコンピュータのログイン画面が表示されますので、サーバコンピュータのユーザ名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

注: IP アドレスがわからない場合は、コマンドプロンプトを起動し「ipconfig」を実行し確認してください。

3. <クライアント> クライアントコンピュータの画面にサーバコンピュータのデスクトップが表示されます。サーバコンピュータの IP アドレスが画面の上部に表示されています。タブに、[最小化]、[最大化]、[閉じる]ボタンがあることを確認してください。
4. <サーバ> サーバコンピュータにログイン画面が表示されているのを確認してください。リモートデスクトップ接続をして、サーバコンピュータにログインすると、そのサーバコンピュータの制御はすべてクライアントコンピュータで操作しているユーザに委ねられます。
5. <クライアント> リモートログインしているサーバコンピュータの C:\¥CIW¥option¥Internet¥image.tiff をダブルクリックし、画像を表示させます。
6. <クライアント> 「リモートデスクトップ」タブの[最小化]ボタンをクリックします。このステップにより、サーバコンピュータの表示が最小化され、クライアントコンピュータのデスクトップが表示されます。
7. <クライアント> タスクバーの[リモートデスクトップ]ボタンをクリックし、サーバコンピュータのデスクトップを再表示します。
8. <クライアント> 「リモートデスクトップ」タブの[閉じる]ボタンをクリックし、リモートデスクトップ接続セッションの接続を切断します。
9. <クライアント> [OK]をクリックしてセッションを終了します。